



寿楽荘だより

赤十字精神について①（健康談義 その六）

介護老人福祉施設寿楽荘

医学博士 佐藤 守雄

発行：社会福祉法人 双葉会
介護老人福祉施設 寿楽荘
編集：広報委員会

〒198-0213
東京都西多摩郡奥多摩町海澤497番地
TEL 0428-83-2338
Fax 0428-83-3705
E-mail : jyurakusou@futabakai.or.jp
URL : http://www.futabakai.or.jp

節分 利用者 年男・年女紹介(左から)
實森トシ様、柴田ヨネ様、原島スミ様、
若林美津江様、小野一三郎様、瀧美龍雄様
平成16年2月3日撮影

一八五九年、31歳のスイス人アンリ・デュナンは旅行の途次ソルフェリーノを通りました。其処はナポレオン三世が、イタリア統一のためオーストリア軍と戦った激戦地でした。負傷兵の悲惨な状態を見て、彼は「戦争の時に負傷兵を看護することを目的とする救護団体を、平和で穏やかな時代に組織しておく方法はないものか」という強い意欲を持ちました。一八六二年、「ソルフェリーノの思い出」を出版し、その惨状を訴えますと、ヨーロッパ諸国に非常な反響を呼び起こしました。ナイチンゲールも協力を約束したと言われています。一八六三年、デュナン等5人のジュネーブ市民が5人委員会を結成し、これが後に赤十字国際委員会に発展します。翌年ヨーロッパ12国の代表が赤十字条約に調印します。ところで、この後、デュナンは赤十字から離れて行き、一八六九年に破産宣告を受け、晩年をポーデン湖近くの養老院で過ごしていました。此処に一九〇一年第一回ノーベル平和賞受賞の知らせが届きました。極貧の中にあっても、彼はこの賞金を直ぐに赤十字国際委員会に寄付しました。劇的な美談といふべきでしょう。

国際赤十字は、赤十字国際委員会（ICRC）、各国赤十字社（日本赤十字社もその一つ）と、その集合体の赤十字社連盟の三者から成り、ICRCは発祥地スイスの国民のみで構成されます。赤十字マークはスイス国旗の赤白を逆にしたものとされており、キリスト教の十字架とは無関係とも言われます。然しデュナン始め創設期の人々の思想に、キリスト教の影響は見逃せません。従ってキリスト教を快く思わない国は使いたがらず、イスラム圏のトルコやイランは、独自のマークを持っています。

なお、ペルーの日本大使館事件の折に日本赤十字社を通じて送った毛布がとどかなかったと云うのは、調停役がICRCから派遣された方だったからでしょう。

社会福祉法人双葉会事業計画

社会福祉を取り巻く情勢は第三者評価の受け入れ、消費税の改正(職員給食費、各手数料収入、認定調査料)等刻一刻と変化している。

そのような社会保険制度で、法人は組織としての運営を基本として計画していくのか、経営を基盤として戦略を進めていくのかを問われる年度となりそうだ。

経済的な部分は各施設の独立採算制によるところとして、法人としては組織の強化と質の向上を目途とした教化を図っていくことが重要であろう。

組織の強化については、現場の声＝利用者の要望を法人に反映させるべき、ボトムアップ施設組織を作り上げ、より強固な役職員組織を確立する。又今後の介護施設の方向を考えれば顧問弁護士の導入も検討するべきであろう。

教化については、すべての職員が「心の福祉」の基本である心の癒しを前提とした倫理観が必要であることを導いていく。

ともあれ今年度は強化と教化を第一に考えて法人の重点目標としていく。

双葉会診療所事業計画

I. 基本方針

日本の経済が疲弊していくほどに民間の事業所に負担させるのが現在の日本の現状であることを見ると先行きの不透明は暗澹たるものがある。

そのような状況であるが当診療所が目指しているものは、単に経済的な経営の安定だけではなく利用者がいかに安心して医療を享受できる環境を作ることにある。

そのためには道元禅師の「只管打坐」ならぬ「只管打医」ただひたすら患者が求める患者のための安心と安全をモットーに事業を展開し続ける。

寿楽荘事業計画

I. 基本方針

介護保険の見直しを国は行ってきたが、17年の介護制度改革についてより本格的な改正を図るため厚生労働省に介護制度改革本部を設置した。主な内容は自己負担(1割負担)の引上げ、保険徴収を20歳から、身障介護保険の制定、利用者の居住、光熱、自己負担費の制定等である。この内容の全貌はまだ明らかではないが表面上から見ればただ経済の効率性を重視しているような気がしてならない。心から願うのは早急に介護保険を実施した時の反省を踏まえて、ゆとりある生活を享受していただくための効率重視を検討してほしいものである。

今年度法人が掲げた方針は施設の完全なる独立採算制である。幸いに安定性があるので従来どおりに各費用の見直しを継続しつつ、新たに第三者評価の受け入れ、利用者個々に対して実りある余暇時間の提供、心身の状況を勘案した上での居住区の対応、特色ある食事を栄養医療面から提供させていただく。医療面では医師の指示により的確な対応を看護職のサポートにより行う。

16年度当初予算

資金収支当初計算書

(自) 平成16年4月1日 (至) 平成17年3月31日

法人名 社会福祉法人双葉会
 (会計区分名) 介護老人福祉施設 寿楽荘

別紙1-1

勘定科目		前年度予算額	当初予算額	増減
経常活動による収支	収入			
	介護福祉施設介護料収入	705,682,000	706,793,000	1,111,000
	居宅介護料収入	12,033,000	14,861,000	2,828,000
	居宅介護支援介護料収入	163,000	163,000	0
	利用者等利用料収入	18,274,000	25,261,000	6,987,000
	その他の事業収入	12,932,000	13,128,000	196,000
	寄付金収入	9,697,000	9,647,000	-50,000
	借入金利息補助金収入	2,663,000	2,502,000	-161,000
	受取配当金収入	30,000	30,000	0
	雑収入	9,314,000	6,314,000	-3,000,000
	経常活動収入計(1)	770,788,000	778,699,000	7,911,000
	支出			
	人件費	505,896,000	483,278,000	-22,618,000
	経費支出	227,784,000	234,009,000	6,225,000
借入金利息支出	2,663,000	2,502,000	-161,000	
経常活動支出計(2)	736,343,000	719,789,000	-16,554,000	
経常活動等資金収支差額(3)=(1)-(2)	34,445,000	58,910,000	24,465,000	
施設整備等による収支	収入			
	設備資金借入金収入			
	施設整備等補助金収入			
	施設整備等寄付金収入			
	施設整備等収入計(4)	0	0	
	支出			
固定資産取得支出	2,441,000	101,358,000	98,917,000	
施設整備等支出計(5)	2,441,000	101,358,000	98,917,000	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-2,441,000	-101,358,000	-98,917,000	
財務活動による収支	収入			
	長期運営資金借入金収入			0
	設備資金借入金元金償還補助金収入			0
	設備資金借入金元金償還寄付金収入			0
	長期運営資金元金償還寄付金収入			0
	積立預金取崩収入		100,000,000	100,000,000
	会計区分外繰入金収入	2,100,000	2,100,000	0
	その他の収入			0
	財務活動等収入計(7)	2,100,000	102,100,000	100,000,000
	支出			
	設備資金借入金元金償還金支出	31,900,000	31,900,000	0
	長期運営資金借入金元金償還金支出			0
	積立預金支出			0
	他会計区分繰入金支出			0
財務活動等支出計(8)	31,900,000	31,900,000	0	
財務活動等資金収支差額(9)=(7)-(8)	-29,800,000	70,200,000	100,000,000	
予備費(10)	2,204,000	27,752,000	25,548,000	
当期資金収支差額(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	
前期末支払資金残高(12)	314,893,525	367,961,635	53,068,110	
当期末支払資金残高(13)	314,893,525	367,961,635	53,068,110	

日本財団助成事業完了のお知らせ

このたび日本財団から平成十五年
度助成金の交付を受けて、左記の
事業を完了致しました。

ここに事業完了のご報告を申し上
げますと共に、日本財団を始め、ご
協力を賜りました関係者の皆様に
謹んで感謝の意を表します。

記

- 一、事業名 車椅子対応車(軽自動車)の整備
- 一、整備車両 ダイハツアトリーストーパー
- 一、事業総額 百五十九万円
- 一、助成金額 八十九万円
- 一、完了年月日 平成十六年二月二十五日



行事活動状況

上段2枚：涅槃会法要
右側：中庭日光浴
下段4枚：行事喫茶



ご家族の皆様へ

寿楽荘の向かい側に位置する社会福祉法人ふ
るさと福祉会の軽費老人ホーム「ケアハウス天
地の園(仮称)」の建設工事が平成16年2月24
日から平成17年2
月末までの予定で始
まりました。
工事に伴い資材搬入
等で大型車両が多数
施設前の道路を行き
交いますうえ、施設
駐車場も一部変更が
ありますので、ご面
会にお越しの際には
お気をつけ下さい。



黙庵会長の書
一っ怒れば
一っ老い
一っ笑えば
一っ若く
なる

ご意見有難う ございました

館内に設置してあります意見箱に、ベットの清潔保持
に関してご意見を頂きました。
早速、職員の業務内容を見
直し、改善に取り組んでおり
ますので、成果が出るまでの
間しばらくの猶予を頂きま
すようお願い致します。
貴重なご意見をお寄せ頂い
た方に御礼申し上げます。

今後の行事予定 平成16年5月から平成16年7月迄(適宜変更あり)

- | | | |
|-----------|------------|-----------|
| 5月 | 6月 | 7月 |
| ●母の日 | ●父の日 | ●盆供養 |
| ●さつき会喫茶 | ●マス釣り | ●ビアガーデン |
| ●菖蒲湯 | ●夏物衣料品展示販売 | ●買物バス |
| ●買物バス | ●室内履き展示販売 | ●スイカ割り |
| | | ●桃の葉湯 |

編集委員紹介

広報委員長	村木 事務主任
編集委員長	清水 介護主任
編集委員	青木 栄養士
編集委員	小川 事務主任
編集委員	坂本 介護主任
編集委員	島崎 事務主任
編集委員	中村 介護主任
編集委員	牧野 看護主任
編集委員	三富 介護主任

(編集委員 五十音順)
※上記委員により今後も寿楽荘だよりは定期的に刊行される予定です。ご協力をお願いします。

平成16年3月13日にJR各線のダイヤ改正が行われました。
青梅線奥多摩駅の発車・到着時間についても若干(従前と1~2
分の変更)の改正があります。電車にてご面会にお見えになら
れるご家族様は一度ご確認ください。